

令和 7 年度

年間授業計画

教科

家庭

科目

家庭基礎

教科： 家庭

科目： 家庭基礎

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年

使用教科書： 実教出版「図説 家庭基礎」

教科 家庭 の目標：

【知識及び技能】	人の一生を通し、生活を主体的に営むために必要な基礎知識を理解し、それに関わる技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】	生活の中から課題を発見し、考察と実践を経て課題を解決する力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】	さまざまな人と協働しながら、生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を身につける。

科目 家庭基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識を理解するとともに、それらに関わる技能を身につける。	生活の中から問題や課題を発見し、解決策を構想し、実践を評価・改善する。論理的に表現する。	よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家族、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を身につける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	単 元 1 自分らしい生き方と家族	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	ライフステージの特徴や起こりえるライフイベントについて理解する。	生涯の生活設計	基本的な正しい知識を身につけることができたか。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	8
	現代の家族の特徴について気づかせる	教科書	気づきから掘り下げて考えたり調べ、その結果を表現できたか。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	グループ活動を行い、意見を出し合う。	調査活動	主体的に活動に取り組めたか。				
	単 元 2 高齢者とかかわる	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	高齢期を支える手立てについて理解する。	高齢期の生活	基本的な正しい知識を身につけることができたか。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	8
	これからの人生について想像し、必要なことやリスクについて考える。	教科書	気づきから掘り下げて考えたり調べ、その結果を表現できたか。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	グループ活動を行い、意見を出し合う。	視覚聴覚障害体験	主体的に活動に取り組めたか。				
	定期考査（第1学期中間考査）/返却と解説						
	単 元 3 社会とかかわる	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	日本の社会保障制度の概要を理解する。	社会保障について	基本的な正しい知識を身につけることができたか。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	6
	ライフステージに応じて、どの社会保障制度を利用できるか、選択できるようにする	教科書	気づきから掘り下げて考えたり調べ、その結果を表現できたか。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	グループ活動を行い、意見を出し合う。	調査活動	主体的に活動に取り組めたか。				
	単 元 4 子どもとかかわる	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	乳幼児の心身の特徴や発達、生活について理解する。	子どもの発達について	基本的な正しい知識を身につけることができたか。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	8
	生命の尊さを認識し、子どもにとって良い環境について考え発表する。	教科書	気づきから掘り下げて考えたり調べ、その結果を表現できたか。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	グループ活動を行い、意見を出し合う。	乳幼児動画視聴	主体的に活動に取り組めたか。				
	定期考査（第1学期期末考査）/返却と解説						2

令和 7 年度

年間授業計画

教科

家庭

科目

家庭基礎

教科： 家庭

科目： 家庭基礎

単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年

使用教科書： 実教出版「図説 家庭基礎」

教科 家庭 の目標：

【知識及び技能】	人の一生を通し、生活を主体的に営むために必要な基礎知識を理解し、それに関わる技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】	生活の中から課題を発見し、考察と実践を経て課題を解決する力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】	さまざまな人と協働しながら、生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を身につける。

科目 家庭基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識を理解するとともに、それらに関わる技能を身につける。	生活の中から問題や課題を発見し、解決策を構想し、実践を評価・改善する。論理的に表現する。	よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家族、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を身につける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
2 学 期	単元 5 食生活をつくる	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	食と健康のかかわりについて基本的な知識を持つ。	栄養の知識と調理実習	基本的な正しい知識を身につけることができたか。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	8
	自身の食生活の傾向を理解し、改善するための献立を考える。	教科書	気づきから掘り下げて考えたり調べ、その結果を表現できたか。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	グループ活動を行い、意見を出し合う。	献立作成	主体的に活動に取り組めたか。				
	単元 6 衣生活をつくる	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	被服の機能や目的に応じた着装について理解する。素材についての知識を持つ。被服管理の技能を持つ。	衣生活について	基本的な正しい知識を身につけることができたか。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	4
	自分に適した着装について考えたり選ぶことができる。	教科書	気づきから掘り下げて考えたり調べ、その結果を表現できたか。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	グループ活動を行い、意見を出し合う。	調査活動	主体的に活動に取り組めたか。				
	定期考査（第2学期中間考査）/返却と解説						
	単元 7 住生活をつくる	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	住空間の計画や整備について科学的に理解する。	住生活について	基本的な正しい知識を身につけることができたか。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	8
	動線を考えて平面計画をし、その特徴を説明する。	教科書	気づきから掘り下げて考えたり調べ、その結果を表現できたか。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	グループ活動を行い、意見を出し合う。	平面計画	主体的に活動に取り組めたか。				
	単元 8 経済的に自立する	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	家計と経済社会のかかわりについて理解する。	家計管理や資産形成について	基本的な正しい知識を身につけることができたか。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	8
	家計管理のシミュレーションをする。	教科書	気づきから掘り下げて考えたり調べ、その結果を表現できたか。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	グループ活動を行い、意見を出し合う。	家計シミュレーション	主体的に活動に取り組めたか。				
	定期考査（第2学期期末考査）/返却と解説						2

令和 7 年度

年間授業計画

教科

家庭

科目

家庭基礎

教科： 家庭

科目： 家庭基礎

単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年

使用教科書： 実教出版「図説 家庭基礎」

教科 家庭 の目標：

【知識及び技能】	人の一生を通し、生活を主体的に営むために必要な基礎知識を理解し、それに関わる技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】	生活の中から課題を発見し、考察と実践を経て課題を解決する力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】	さまざまな人と協働しながら、生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を身につける。

科目 家庭基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識を理解するとともに、それらに関わる技能を身につける。	生活の中から問題や課題を発見し、解決策を構想し、実践を評価・改善する。論理的に表現する。	よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家族、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を身につける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
3 学 期	単 元 9 消費行動を考える	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・ 指導事項	【知識及び技能】				
	消費に関する適切な意思決定について理解する。	責任ある消費生活について	基本的な正しい知識を身につけることができたか。				
	【思考力、判断力、表現力】	・ 教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	6
	消費に関する情報を正しく利用する。	教科書	気づきから掘り下げて考えたり調べ、その結果を表現できたか。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・ 一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	グループ活動を行い、意見を出し合う。	調査活動	主体的に活動に取り組めたか。				
	単 元 10	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・ 指導事項	【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・ 教材	【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・ 一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	単 元 11	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・ 指導事項	【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・ 教材	【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・ 一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	単 元 12	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・ 指導事項	【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・ 教材	【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・ 一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	定期考査（学年末考査）/返却と解説						2